

ミヤマツチトリモチ

学名 *Balanophora nipponica* Makino

目名

目名学名

科名 ツチトリモチ科

科名学名 Balanophoraceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)



[選定理由]

本州北部に広く分布し、南下するに従い分布域が狭くなっている。本県の生育地は点在し、個体数も少ない。自然林の伐採による生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州(北～中部), 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	山地の谷部林内。落葉広葉樹(カエデ類)を宿主として根に生育する。
現 状	「祖母・傾山地」では、ごく最近、生育地が確認された。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。異名キュウシュウツチトリモチの基準標本産地[由布岳]